

NEWSLETTER

No012320

今後しばらく重点を理論より方法論の方に移し進んでいきます。
必要に応じて理論に触れますが、実践の方法論に比重がおきます。
と言っても、**方法論を支えているのは理論的背景です**。理論的背景は十分に理解されているという前提に立って進んでいきます。

マトリックスのテーブルは掲げません。
トライアングルで判断してください。

トライアングルを見ることも実践の一部です。

これによって数学的思考に基づいてハンド操作/オペレーションを実行することを促進させます。

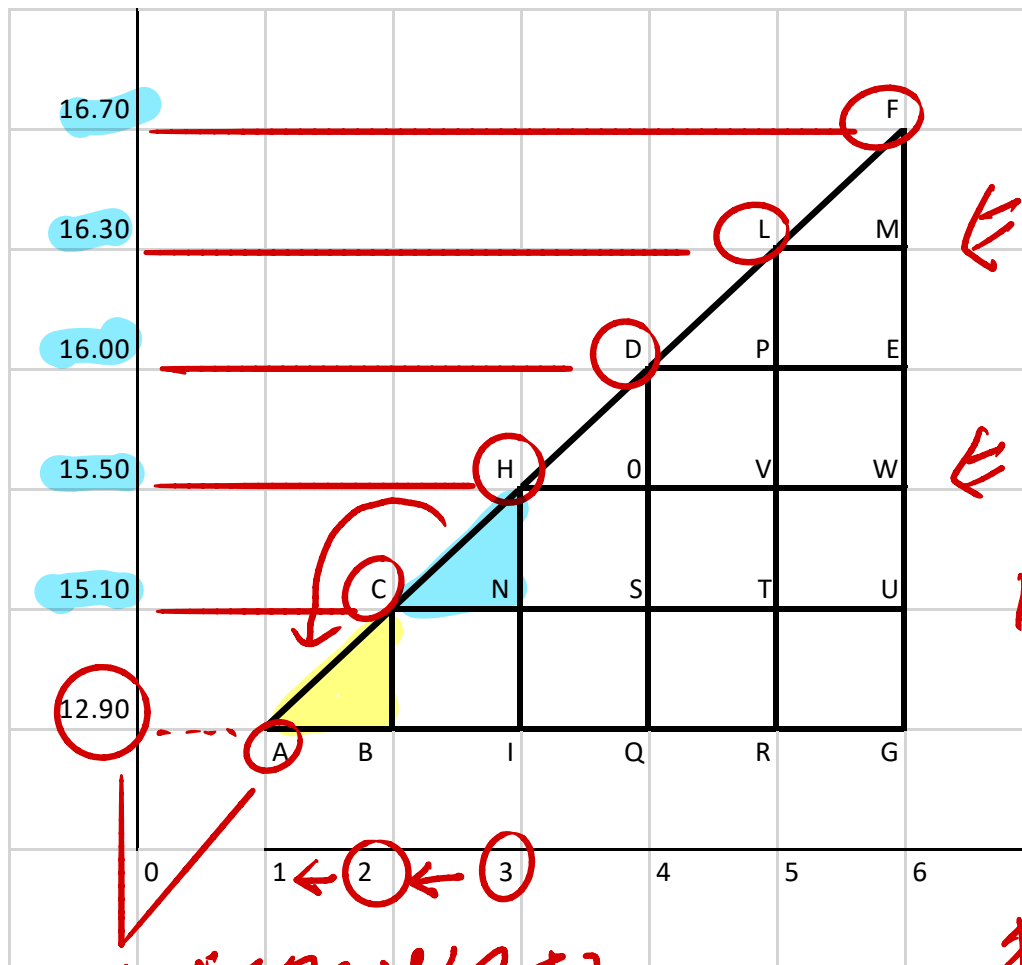
トライアングルに続くハンドテーブルと一体してご覧ください。

その次に来るのがバリューチェーンです。

バリューチェーンはログイン画面からご覧になれますのでご覧ください。

バリューチェーンの数字の記録を取る必要はありません。(本稿では説明目的で掲げています。)

記録が必要なのはトライアングルとハンドテーブルです。(理論的背景の理解が前提です。)



このバリューチェーンの数字の記録を取る必要はありません。
記録が必要なのはトライアングルとハンドテーブルです。

→ Number Operation を支えている理論的背景をよく理解し、それを「利益」に結びつけるのが方法論

Number Operation は「数学的合理性」を追求する事です。

数値構造の変化を幾何学的に見ます。
これを観察し、そこから生じる生産物(マター)について先づきあげ、どの程度その生産物を拾い上げるか
→ それが方法論です。